

ISO50001認証

審査員研修スタート

温暖化対策や 節電推進役も

省エネセンター

エネルギー管理システムの国際規格「ISO50001」が発行されてから間もなく3カ月。認証取得を判定する審査員の研修制度が動きだす。50001は企業の省エネルギー活動を強化するツールとされ、研修制度には省エネ活動に当たる人材育成の役割も期待される。温暖化や節電の対策の推進役が登場することになる。

(松本喬)

ISO50001 (エネルギー マネジメントシステム) の審査員研修講座の概要

- 審査の原則、手順・手法
- 規格・関連する基準類
- エネルギー審査員特有の知識・技能
 - ・エネルギーに関する基本事項・省エネの方法
 - ・規格運用の技術的側面
 - ・省エネ法との関係
- エネルギーマネジメントのパフォーマンスに関する実習

審査員評価登録センターの資料から抜粋

省エネルギーセンターが開設した審査員評価登録センターが審査員を育成する研修機関の受け付けを始めた。9月中にも登録センターの承認を受けた第1号の研修機関が誕生する。研修機関について省エネルギーセンターの山田富美夫診断指導部長は「企業で省エネを担う人材の教育訓練、養

NEWS 拡大鏡

成の場にもなる」と見出し、本来の審査員育成以外の効果にも期待する。審査員はISO50001の認証取得を申請した企業が基準を満たすかを審査し、時には改善を指導する専門職。審査員になるには研修機関で講座を受けて知識や技量を身につけ、試験に合格する必要がある。新設した登録センターは研修機関の適正判定や受講者の試験、合格者の登録を担当する日本で唯一の機関だ。

研修機関の受講者として想定されるのが「ISO14001」や品質管理システム「ISO9001」の審査員。それ以外に省エネにかかる知識

企業エネ管理 専門家に育成

や技能の習得、レベルアップを目指す人にも門戸を開く。

登録センターが定める研修機関の講座は3コースを設定。14001と9001の審査員、エネルギー管理士や技術士、電気主任技術者といった資格保有者には講義内容

を絞った2コースを用意した。いずれにも該当しない人にはエネルギー管理全般を学ぶフルコースがある。40時間(5日間)と長いが、実習もある。省エネの基本知識や技能を習得できる。

現在の認証取得は同社を含め3社。エネルギー問題への関心が高まっており、認証取得企業も増えそうだ。

の省エネ活動で活躍できると太鼓判を押す。審査員の資格を得られるので、エネルギー管理の専門家として対外的にも認められる。

50001は省エネ活動の枠組みを定めた初の国際規格。組織全体での省エネ活動を求めるなど日本の省エネ法と類似点が多い。エネルギー使用効率の改善を認証の条件としており、認証への取り組みが省エネに直結する。

恵比寿ガーデンプレイス(東京都渋谷区)に冷暖房を提供する東京エネルギーサービス(同)は8月、50001の認証を取得した。「一段上の省エネ活動のために取得した」という。省エネ法と違い、50001は目標を事業実態に合わせ柔軟に設定できる。同社は冷凍機やボイラなど冷暖房設備のエネルギーを目標に定めた。